

平成 2 5 年度

事 業 報 告 書

(自) 平成 2 5 年 4 月 1 日

(至) 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成25年度事業概要	1
I. 法人運営部門	
1 役員会開催状況	2
2 評議員会開催状況	2
3 監査状況	3
4 苦情の受付及び解決状況	3
II. 地域福祉活動推進部門	
1 民生委員・児童委員活動支援事業	3
2 地域福祉活動計画策定事業	3
3 ボランティアセンター事業	3
4 小地域ネットワーク活動	7
5 福祉教育・啓発活動	22
6 地域子育て支援センター事業	25
7 各種福祉団体支援事業	30
8 共同募金配分金事業	30
III. 福祉サービス利用支援部門	
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	32
2 生活福祉資金貸付事業	33
3 福祉資金（小口）貸付事業	33
4 住民の福祉活動の推進・支援	33
5 祭壇貸付事業〈特別会計〉	35
6 総合相談事業	35
7 健康・生きがい促進運営事業	35
8 三瀬地域巡回バス運営事業	35
9 放課後児童クラブ事業	35
10 老人福祉センター等運営事業	36
11 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	39
12 松梅児童館運営事業	39
13 佐賀市産業振興会館管理事業	39
14 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	40
15 佐賀市久保田総合センター管理事業	40
IV. 在宅福祉サービス部門	
1 居宅介護支援事業	40
2 訪問介護事業	41
3 通所介護事業	41
4 富士地区コミュニティバス実験運行事業（富士地区高齢者憩いの家事業）	41
5 身体障がい者居宅介護支援事業	42
6 外出支援事業	42
7 その他の事業	42
V. その他の事業	
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	43
2 日本赤十字社事業の推進	44

平成25年度事業概要

地域社会や家庭の様相は、少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って大きく変容してきております。経済情勢や雇用環境には少しずつ明るさが見えてきていますが、経済的困窮や低所得の問題、虐待や悪質商法などの問題など、地域における生活課題は深刻化・複雑化しています。

誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくりを使命とする社会福祉協議会は、こうした今日的な地域福祉の課題を受け止め、「第二期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなが参加、みんなで福祉、みんなの安心、笑顔が輝く佐賀のまち」の達成のために、佐賀市をはじめ校区社会福祉協議会、民生委員児童委員、自治会協議会、ボランティア、地域の各種団体や福祉団体などとの連携を密にし、基本目標である

- ① 人的ネットワークづくり
- ② 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ③ 充実した福祉サービスの仕組みづくり

に取り組み、そこに暮らす人々がお互いに「助け合い、支え合う」地域福祉の推進のために、本所・支所・各センター・事業所一丸となって事業に取り組みました。

東日本大震災の被災者支援についても、復興のために佐賀県共同募金会・日本赤十字社佐賀県支部と協力しながら、継続した支援活動が続けてまいりました。また、佐賀市が大規模な災害にみまわれた場合の行動マニュアルとなる、「佐賀市社協災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を基に訓練を実施するとともに、佐賀市と「災害ボランティアセンターの設置等に関する協定」を結ぶことができました。

※各項目の金額は事業支出額、〔P. 〕は資金収支決算書の該当するページを表しています。

※共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。

I. 法人運営部門

1 役員会開催状況 (159,000 円) [P. 46]

- (1) 第1回理事会 平成25年5月29日 (出席15名 欠席1名 欠員1名)
第1号議案 平成25年度第1回一般会計資金収支補正予算について
第2号議案 平成24年度事業報告並びに一般会計・特別会計資金収支決算について
第3号議案 評議員の選任について
第4号議案 苦情解決第三者委員の選任について
- (2) 第2回理事会 平成25年7月1日 (出席10名 書面表決1名 欠席2名)
第1号議案 会長の選任について
第2号議案 副会長の選任について
第3号議案 平成25年度第2回一般会計資金収支補正予算について
- (3) 第3回理事会 平成25年12月26日 (出席12名 欠席1名)
第1号議案 平成25年度第3回一般会計資金収支補正予算について
第2号議案 定款の変更について
第3号議案 経理規程の廃止及び制定について
第4号議案 評議員の選任について
- (4) 第4回理事会 平成26年3月26日 (出席11名 欠席2名)
第1号議案 平成25年度第4回一般会計・特別会計資金収支補正予算について
第2号議案 平成26年度事業計画及び一般会計資金収支予算について
第3号議案 事務局規程の改正について
第4号議案 文書規程の廃止及び制定について
第5号議案 田中榮太郎子育て支援基金規程の廃止について
第6号議案 祭壇貸付事業の廃止及び祭壇基金規程の廃止について

2 評議員会開催状況 (324,000 円) [P. 46]

- (1) 第1回評議員会 平成25年5月29日 (出席23名 欠席11名 欠員1名)
第1号議案 平成25年度第1回一般会計資金収支補正予算について
第2号議案 平成24年度事業報告並びに一般会計・特別会計資金収支決算について
- (2) 第2回評議員会 平成25年6月21日 (出席23名 欠席4名)
第1号議案 理事の選任について
第2号議案 監事の選任について
- (3) 第3回評議員会 平成25年7月1日 (出席24名 欠席3名)
第1号議案 平成25年度第2回一般会計資金収支補正予算について
- (4) 第4回評議員会 平成25年12月26日 (出席22名 欠席5名)
第1号議案 平成25年度第3回一般会計資金収支補正予算について
第2号議案 定款の変更について
第3号議案 経理規程の廃止及び制定について
- (5) 第5回評議員会 平成26年3月26日 (出席23名 欠席4名)
第1号議案 平成25年度第4回一般会計・特別会計資金収支補正予算について

第2号議案	平成26年度事業計画及び一般会計資金収支予算について
第3号議案	事務局規程の改正について
第4号議案	文書規程の廃止及び制定について
第5号議案	田中榮太郎子育て支援基金規程の廃止について
第6号議案	祭壇貸付事業の廃止及び祭壇基金規程の廃止について

3 監査状況（36,000円）〔P.46〕

（1）平成24年度事業・会計監査

平成25年5月 9・14・15・16日

4 苦情の受付及び解決状況（12,000円）〔P.46〕

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

（単位：件）

区分	相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	継続中	意見要望	計
高齢者	—	—	—	—	—	—	—
障がい者	1	—	—	—	—	—	1
児童	—	—	—	—	—	1	1
その他	—	—	—	—	—	—	—
計	1	—	—	—	—	1	2

II. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業（509,000円）〔P.56〕

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

（1）地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内26地区の同協議会へ出席した。（毎月5日～15日）

（2）佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため出席した。

（毎月25日）

2 地域福祉活動計画策定事業（54,397円）〔P.58〕

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第二期計画策定後3年が経過したことに伴い、佐賀市及び地域住民・福祉団体・ボランティア団体・学識経験者等からなる委員会に計画の進捗状況の報告を行った。

3 ボランティアセンター事業（2,306,426円）〔P.59〕

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座・行事等を開催し、市民のボランティア意識高揚と、ボランティア活動への参加を促した。

(1) 活動基盤整備事業

① ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

② ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンターの適切な運営を図るため、事業内容などについて検討した。

回	日 程	協議内容
第 1 回	6 月 2 8 日 10 : 00 ~ 11 : 30	・ ボランティア活動に関する研修について ・ 平成 2 5 年度佐賀市ボランティア活動協力校補助金申請について ・ 平成 2 5 年度佐賀市ボランティア活動助成金申請について
第 2 回	9 月 1 1 日 10 : 00 ~ 11 : 30	・ ボランティア活動に関する研修について ・ 佐賀市社会福祉協議会ボランティア活動助成金交付について ・ 平成 2 5 年度佐賀市社会福祉協議会ボランティア活動協力校補助金申請（後期分）について ・ 佐賀市社会福祉協議会ボランティア活動協力校補助金のあり方について
第 3 回	1 2 月 1 1 日 10 : 00 ~ 11 : 30	・ 佐賀市社会福祉協議会ボランティア活動助成金交付基準について ・ ボランティアセンター人材登録・派遣事業について ①福祉体験学習指導者派遣事業 ②ボランティア講師派遣事業 ③ボランティア受け入れに関するアンケート
第 4 回	3 月 1 2 日 13 : 30 ~ 15 : 00	・ 平成 2 5 年度ボランティアセンター事業報告について ・ 平成 2 6 年度ボランティアセンター事業計画について ・ 高齢者疑似体験事業について

③ 人材リストへの登録団体募集

「ボランティアを受けたい方」と「登録者（ボランティア）」を結びつける人材バンクとして活用するため、地域の団体をはじめ学校や企業へ紹介できるよう人材リストの登録を行った。

○登録団体 2 4 団体

○個人登録者 7 人

(2) 啓発推進事業

① ボランティア情報の提供

ボランティア団体に対し、ホームページ等で民間助成事業に関する案内を行い、活動の幅が広がるよう支援した。

(3) 養成研修事業

①地域子育て支援ボランティア養成講座

公開講座 (P.28 に再掲載「⑤公開講座」)

- 対象者 地域の子どもに関心のある方
- 開催日 平成25年9月30日
- 場 所 佐賀市大和支所庁舎 第4会議室
- 講 師 子ども支援共同プランナー「塵劫社」代表 高田悦也
- テーマ 子どもを見守るためのボランティアとは？
- 参加者 73名

子育て支援ボランティア講座

- 対象者 自分の地域でボランティアを始めたいと思われる方
- 開催日 1回目 平成25年10月30日、11月6日
2回目 平成25年11月25日、12月2日
- 場 所 1回目 佐賀市大和老人福祉センター 会議室
2回目 ほほえみ館 きらきら学習ルーム
- テーマ 居場所の一員になりませんか？
- 背 景 お母さんたちは、気楽に出かけられる場所を求めている。しかし、初めての場所での仲間づくりは難しい。お母さんたちが安心して繋がっていけるようにサポートが求められている。
- 参加者 1回目 17人
2回目 24人

②地域ボランティア養成講座

P.13 (8) 見守りネットワーク事業 ①見守り体制に向けた研修会（地域見守りボランティア養成講座）として実施

(4) 災害時のボランティアへの取り組み

①「災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」の見直し

現マニュアルは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、本会職員が派遣された「いわき市災害救援ボランティアセンター（福島県いわき市）」での支援体験を基に策定したものであり、想定規模は「大規模災害（震度5以上の地震災害）」でした。

しかし、昨今の異常気象、特に集中豪雨や土砂崩れなどの自然災害に対応するため、想定規模を実用性がある「小規模災害（集中豪雨や竜巻災害など）」に変更する必要性があり、今回、センターの立ち上げや設置訓練の際、参考になるよう職員（スタッフ）が踏むことになる手順や発言例を盛り込んだ実践向けのマニュアルとするため、主に名称、災害想定規模や組織体制の変更、様式の簡素化を行った。

②災害ボランティアセンター研修会の開催

職員対象のセンターの設置・運営にかかる研修や訓練を行い、災害時のボランティアコーディネートについての取り組みを深めた。

開催日・会場	内容	参加者
3月8日 ほほえみ館 軽スポーツ室	講義「災害ボランティア活動について」 災害ボランティアセンター設置訓練 「災害ボランティアセンターを体験してみよう」	59人

③「佐賀市災害ボランティアセンターの設置等に関する協定書」の締結

佐賀市地域防災計画に定める「ボランティア活動の環境整備、受け入れ窓口に関すること」に関して、平成24年8月21日から佐賀市関係部署と「佐賀市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに関する協議事項（本会作成）」を基に、佐賀市地域防災計画への本会の位置づけの明記、災害ボランティアセンター設置に必要な施設や情報の提供および運営資金補助を担保するため、協定書の締結を結ぶことができた。

④災害関係研修への参加

災害が発生した場合を見据え、災害ボランティアセンターの設置・運営に関わる人材を育成するため、研修会に職員を派遣した。

日時・会場	研修名	内 容
6月2日 10:00～15:30 佐賀市保健福祉会館 【佐賀市】	日本防災士会長崎 県支部・佐賀県防 災士会合同研修会	災害ボランティアセンターとボラン ティア活動についての講演があり、そのあ と、災害ボランティアセンター設置訓練 を行った。
1月15日 10:00～12:00 久留米市社会福祉協 議会庁舎 【久留米市】	災害支援ボランテ ィアセンター設置 運営訓練	久留米市内で震度7の地震が発生した との想定により、社会福祉協議会におい て、災害ボランティアセンターを設置 し、ボランティアの受付・登録・ニーズ の把握及びボランティアの派遣（マッ チング・オリエンテーション）任務付与ま での訓練
1月21日 ～1月22日 国際障害者交流セン ター（ビッグ・アイ） 【大阪府】 ○ビッグ・アイ主催	災害時要援護者支 援ボランティアリ ーダー養成講座	東日本大震災での避難所の運営状況を 踏まえ、今後の災害時の避難所運営のノ ウハウ提供や開設時の注意点などが具 体的に示され、取得できた。東日本大震 災の復興状況なども知ることができた。

⑤佐賀県防災士会との連携

佐賀県防災士会の研修に参加したり、佐賀市ボランティア連絡協議会の研修の際、講師に招いたり、連携を図った。また、平成26年3月8日の災害ボランティアセンター研修会では協働で取り組むことができた。災害ボランティアセンターの立ち上げには、社協のみの人力では難しく、日頃から防災士会との連携を深めていくことが求められる。

（5）団体活動の支援

①ボランティア活動保険の受付

登録団体のボランティアが安心して活動に取り組めるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険に関する情報提供を行うとともに、保険加入や事故受付事務を行った。

- 加入受付 111団体・10名（個人ボランティアとしての加入者）
- 事故申請 6件

②ボランティア活動への助成〔P.59〕

福祉活動の振興を図るため、佐賀市を拠点に社会福祉事業を行っているボランティア団体等に対して、活動に要する経費の一部を助成した。

○ボランティア団体	55団体	1,090,000円
○ボランティア連絡[推進]協議会	9団体	450,000円

③学校ボランティア育成事業 [P.59]

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を育むことを目的に、学校における取り組みに対して、助成を行った（市内小・中・高校が対象）。

○助成校	19校（小学校：13校、中学校：5校、高校：1校）
○助成額	444,696円

（6）その他の支援の事業

①24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車両等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

○開催日	平成25年8月24日・25日
○場 所	イオンモール佐賀大和・イオンスーパーセンター佐賀
○参加者	23団体
○内 容	市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車両等の寄贈申し込みの取りまとめを行い、各団体との協働により福祉の街づくりを推進した。

②各ボランティア連絡（推進）協議会・ボランティア団体等との連携

各ボランティア連絡（推進）協議会やボランティア団体が開催する事業・研修会・定例会等への協力・連携を行った。

③キッズスタッフへの支援 川副 <新規>

青少年のボランティア育成を目的に、川副児童館と協働して登録ボランティア「キッズスタッフ」を育成した。

○登録者数	6名
○活動内容	川副児童館のイベントへの協力 など

4 小地域ネットワーク活動

（1）ちょっとボランティア推進事業

高齢者や障がい者が地域で日常生活を送るうえで「ちょっと誰かに手伝ってもらいたい・お願いしたい」という要望を身近で気軽に頼める地域の助け合いネットワークづくりを推進した。

（19校区における進捗状況）

年度	実施中	実施予定	検討中
25年度	9	2	8

（2）校区社会福祉協議会活動の推進・支援（10,599,512円）

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識をもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行った。

①校区社会福祉協議会運営費助成（5,320,000円）[P.56]【共募配分（一部）】

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

②校区社会福祉協議会会長会及び役員会の開催

各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長会を4回（6月、9月、1月、3月）、役員会を6回（4月、6月、8月、10月、12月、2月）開催し、情報交換を図った。

③校区社会福祉協議会役員研修（905,512円）〔P.56〕

校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、県内外の先進地の地区社会福祉協議会役員との交流研修等を実施し、事業の強化・促進を図るとともに、役員の「地域づくり」に対する意識を高めた。

○開催日 平成25年11月6日～7日

○研修地 大牟田市社会福祉協議会・春日市社会福祉協議会

○内 容

◆大牟田市における小地域福祉活動及び小地域ネットワークの組織体制について

ア．大牟田市における地域組織の概況

イ．天の原校区社会福祉協議会の取り組み

・校区社会福祉協議会活動に対する天の原校区の考え方

・天の原校区の現状及び組織体制並びに活動について

◆春日市社会福祉協議会における新たな見守り・生活支援の取り組み

家庭機能の低下や地域住民の繋がり希薄化が進む中で、日常生活上での困りごとに対応できないケースが見受けられる中、今後、これらの課題を地域で受け止めるため、地域での見守り活動やふれあいきいきサロンの取り組みが広がっている。このような状況を踏まえ、校区社協で地域たすけあい活動の一層の推進を図るため、地域福祉推進フォーラムに参加した。

○開催日 平成26年1月20日

○研修地 熊本県立劇場 演劇ホール

○参加人数 14名（校区社協）

④年末・年始地域福祉交流事業（4,374,000円）〔P.70〕【歳末配分】

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸 興	ひとり暮らし高齢者への年賀状 勸興まちの駅ふれあい事業 ふれあい親子しめ縄づくり・餅つき大会	171,000
循 誘	循誘ふるさと祭り もうすぐ正月祭	239,000
日 新	しめ縄づくりとぶた汁会 日新クリスマスライトファンタジー 独居高齢者へ年賀状発送 高齢者新年食事会	327,000
赤 松	ひとり暮らし高齢者のふれあいの集い 鯨の門まつり 餅つき・しめ縄づくり ひとり暮らし高齢者への年賀状 ご近所見守り事業	345,000

神 野	第5回カブトムシ大会 ひとり暮らし高齢者交流会 ひとり暮らし高齢者料理教室 神野校区ふれあいサロンスタッフ交流会 ひとり暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布 高齢者男性料理教室	266,000
西与賀	西与賀小学校しめ縄づくり教室 ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	185,000
嘉 瀬	ふれあい異世代交流（どようひろば） 異世代交流事業指導者講習会（しめ縄づくり） ふれあい異世代交流事業（しめ縄づくり・ふれあいもちつき）	155,000
巨 勢	巨勢校区社協グラウンドゴルフ大会 餅つき・しめ縄づくり 巨勢小学校昔遊び	144,000
兵 庫	友愛・兵庫の集い	183,000
高木瀬	しめ縄づくりと豚汁の会 三世代交流事業 高齢者への迎春しめ縄プレゼント こんにちは赤ちゃんプレゼント 高齢者への年賀状配布	576,000
北川副	ふれあいの集い（2回開催） しめ縄づくり・友愛年賀状 もちつき大会 ふれあい冬祭り 高齢者スポーツ大会	285,000
本 庄	本庄校区ふれあい「しめ縄づくり・餅つき大会」	258,000
鍋 島	第4回きらめきフェスタ・地域交流餅つき大会 中学生サンタがやってくる パパと作ろうクリスマスケーキ 防災キャンプin鍋島 鍋島町区駅伝大会ふれあいロードレース 防災・減災のための救急救命講座	261,000
金 立	ふれあいの集い	123,000
久保泉	ほんげんぎょう 餅つき大会	72,000
蓮 池	蓮池校区「こども冬まつり」（石窯あそび・みんなで昼食会・しめ縄づくり・折り紙教室で遊ぼ）	57,000
新 栄	新栄校区年末福祉交流餅つき大会 新栄校区ボランティア合宿訓練 新栄校区高齢者へ年賀状配布	235,000
若 楠	神野北自治会 G・Sふれあいの集い 若楠ほんげんぎょう 若宮餅つき大会 若楠ぜんざい会 県営高木団地自治会主催ふれあいもちつき大会 下高木こどももぐら打ち 八丁畷自治会もちつき大会	267,000

開 成	三世代グラウンドゴルフ大会 校区ボランティア主催 年賀はがき・餅配布 じいちゃん・ばあちゃんとチビっ子のふれあいデー	225,000
合 計		4,374,000

(3) 高齢者サロン事業 (17,844,745 円) [P.78]

地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設（地区公民館、集会所等）を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

◎サロン活動状況

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	4	60	991	310,000
循 誘	10	122	2,045	740,000
日 新	13	138	2,382	916,793
赤 松	1	11	130	70,000
神 野	12	129	3,040	960,000
西与賀	5	54	1,206	400,000
嘉 瀬	4	54	978	290,000
巨 勢	1	11	296	80,000
兵 庫	5	73	1,097	315,000
高木瀬	11	179	4,920	960,000
北川副	16	218	4,061	1,150,000
本 庄	6	110	1,805	460,000
鍋 島	1	11	352	90,000
金 立	9	152	2,481	679,998
久保泉	5	54	1,178	380,000
蓮 池	7	74	1,416	530,000
新 栄	6	950	9,440	520,000
若 楠	3	35	803	230,000
開 成	8	390	4,763	630,000
諸 富	19	303	8,167	1,604,759
大 和	19	330	5,590	1,400,000
富 士	8	110	2,226	650,000
三 瀬	6	72	1,059	420,000
川 副	19	221	3,487	1,305,000
東与賀	4	45	1,111	310,000
久保田	9	106	1,642	640,000
合 計	211	4,012	66,666	16,041,550

◎サロン遊具貸出状況

	保有数	貸出件数
スロットボール	3	69

ボーリングゲーム	5	2 8
輪投げ	1 5	6 3
室内ペタンク	4	2 7
ハンディカラオケ	2	7
バグゴ	2	3
マグネットダーツ	5	1 1

◎高齢者ふれあいサロン実践者研修会

- 対象者 サロン・会食会の協力者
- 開催日 平成25年12月4日
- 場 所 メートプラザ 多目的ホール
- 講 師 ご近所福祉クリエーター 酒井 保
- 内 容 サロン本来の意義に立ち返り、近所同士の見守りや助け合いなどお互いの関係づくりの必要性を学び、自分自身も助けられる存在であることを学ぶ。
- 参加者 320名

◎高齢者ふれあいサロン事業説明会

- 開催日 平成25年3月19日
- 場 所 メートプラザ 多目的ホール
- 参加者 368人

(4) 在宅高齢者会食会助成事業 (1,661,800 円) [P.70] 【共募配分】【歳末配分】

地域の高齢者が公民館等に一堂に会し、食事等の提供を通じて、地域づくりの見守り活動に向けた「気づき」・「実践」の場となることを目的に地区社会福祉協議会等が行う会食会に対して助成金を交付した。

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額(円)
勸 興	勸興校区社協	1	101	30,300
循 誘	ボランティア循友	3	269	80,700
	循誘地区民児協	1	151	45,300
日 新	ボランティアにちりん	6	457	137,100
嘉 瀬	せいらんボランティア	3	178	53,400
巨 勢	ボランティア巨勢	5	324	97,200
	巨勢地区民児協	1	59	17,700
本 庄	本庄校区社協	1	167	50,100
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	109	32,700
	高木瀬校区社協	1	158	47,400
北川副	ボランティア北川副	12	710	213,000
	北川副校区社協	2	449	134,700
	北川副民児協	1	186	55,800
鍋 島	ボランティア鍋島	3	363	89,500
金 立	金立校区社協	7	279	83,700
久保泉	いずみボランティア	2	183	44,100
蓮 池	蓮池校区社協	2	82	24,600

新 栄	新栄ボランティア	5	710	170,800
	新栄地区民児協	1	68	20,400
若 楠	ボランティア若楠	2	274	82,200
開 成	開成ボランティアひまわり	6	603	151,100
合 計		66	5,880	1,661,800

(5) 災害時要援護者避難支援対策事業 (1,732,273 円) [P. 61]

佐賀市と協働し災害時に避難支援を要する高齢者等（災害時要援護者）に対し、迅速な安否確認、避難支援行動に取り組めるよう、地域支援団体（自治会、民生委員児童委員、校区社協など）の協力を得て、災害時要援護者の登録推進や訓練等を行った。

○佐賀市総合防災訓練 平成25年9月28日

○情報伝達訓練 平成26年3月15日

要援護者登録数（平成26年3月末現在）

（単位：人）

地区名	高齢者	障がい者・ 難病患者等	計	地区名	高齢者	障がい者・ 難病患者等	計
勸 興	51	8	59	新 栄	64	8	72
循 誘	99	8	107	若 楠	71	4	75
日 新	81	13	94	開 成	71	11	82
赤 松	51	8	59	諸 富	108	17	125
神 野	110	7	117	春 日	24	3	27
西与賀	35	10	45	春日北	27	2	29
嘉 瀬	45	1	46	川 上	34	7	41
巨 勢	26	2	28	松 梅	9	3	12
兵 庫	96	8	104	富 士	49	5	54
高木瀬	88	7	95	三 瀬	6	2	8
北川副	115	14	129	南川副	13	2	15
本 庄	107	10	117	西川副	23	2	25
鍋 島	40	16	56	中川副	43	4	47
金 立	31	2	33	大詫間	6	0	6
久保泉	42	3	45	東与賀	60	9	69
蓮 池	21	3	24	久保田	28	5	33
				合 計	1,674	204	1,878

(6) 年末地域ふれあいまつり事業助成 (41,260 円) [P. 69] 【歳末配分】 大和

各小学校の育友会（PTA）が中心となり実施される年末の「地域ふれあいまつり」に対し、助成を行うことで、児童と保護者、学校および地域住民との交流を深めることができた。

○「春日っ子ワクワク祭り2013」ワクワク祭り実行委員会

○開催日 平成25年11月10日

○場 所 春日小学校

◎「平成２５年度親子ふれあい餅つき大会」児童館・小・中合同餅つき大会実行委員会

○開催日 平成２５年１２月１日

○場 所 小中一貫校松梅校小学部

(７) 高齢者ふれあい会食会助成事業 (367,990 円) [P.69] 【歳末配分】 大和

大和地区民生委員児童委員協議会が中心となり自治会、食生活改善推進協議会、地域ボランティアの協力のもと開催される年末年始の交流事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。

○対象者 ７０歳以上のひとり暮らし高齢者

◎春日校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成２５年１１月２４日

○場 所 春日コミュニティセンター

○参加者 ７０名

◎春日北校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成２５年１１月３０日

○場 所 北原公民館

○参加者 ６４名

◎川上校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成２５年１２月２１日

○場 所 川上コミュニティセンター

○参加者 ７０名

◎松梅校区高齢者ふれあい会食会

○開催日 平成２６年１月２５日

○場 所 井手公民館

○参加者 ３３名

(８) 見守りネットワーク事業

①見守り体制に向けた研修会（地域見守りボランティア養成講座）(830,000 円) [P.56]

平成２３年度から取り組んでいる「ちょこっとボランティア事業」や今年度から始まる「ご近所見守り事業」の中で活躍できるボランティアを養成する。

(第１回)

○日 時 平成２５年７月２日 １０：００～１５：２０

○場 所 ほほえみ館 きらきら学習室

○対象者 校区社協役員、自治会長、ボランティアコーディネーター、地域活動に関心を持つ方

○内 容 地域における支えあい体制の実現に向け、地域を担う人材の必要性和役割を考えると共に、取り組み校区の事例に学ぶ。

[講義]

ちょこっとボランティア・見守り体制に向けて・・・

[事例発表]

校区社協の事例に学ぶ [兵庫・北川副・鍋島・久保泉]

[まとめ]

支えあい体制への実現に向けて・・・

○講 師 ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

○参加者 ５５名

(第2回)

- 日 時 平成25年7月4日 14:00～16:00
- 場 所 ほほえみ館 視聴覚室
- 対象者 校区社協役員、自治会長、ボランティアコーディネーター、民生児童委員、地域活動に関心を持つ方
- 内 容 「ご近所見守り事業」を基に、地域にあった見守り体制を築くため民生委員児童委員と校区社会福祉協議会との連携の在り方を考える。
- [パネルディスカッション]
- 地域にあった見守り体制に向けて・・・
- 一校区社協の事例に学ぶ。― [兵庫・北川副・鍋島・久保泉]
- ファシリテーター 近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
- パネリスト 兵庫校区・鍋島校区・本庄校区の各区社協会長及び民生委員会長
- 参加者 99名

(第3回)

地域の見守り活動に住民の参加を促すための研修会

- 開催日 平成25年12月3日
- 場 所 メートプラザ 多目的ホール
- 対象者 校区社協役員、自治会長、民生児童委員、支所関係者、ボランティア、見守りの実践者
- 内 容 近所同士の見守り活動を一緒に考え、参加を促進していくキッカケづくり
- ◇公開講座：誰もが参加できる見守り活動に向けての研修会
- 地域住民が参加しやすい環境づくりとは・・・
- 参加者（290名）
- ◇グループワーク：自分ができる活動について
- 自分自身、どのように地域活動に参加していくのか？
- 参加者（66名）
- 講 師 近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

高齢者ふれあいサロン事業実践者研修会

- 対象者 サロン・会食会の協力者
- 開催日 平成25年12月4日
- 場 所 メートプラザ 多目的ホール
- 講 師 近所福祉クリエイター 酒井 保 氏
- 内 容 近所同士の見守りや助け合いなどお互い様の関係づくりの必要性を学んだ。また、講師と佐賀大学医学部学生とのパネルディスカッションを行い、地域内での社会資源の活用について意識づけを行った。
- 参加者 320名

②小地域見守り活動事業（341,386円）〔P.69〕【共募配分】

自分の地域で安心して暮らせるように高齢者への見守り及び声かけを行う「ご近所見守り事業」並びに「福祉協力員」「ちょこっとボランティア」等の活動のなかで、見守り活

動を行われている方が安心して活動が行われるようにボランティア活動保険に加入し、支援した。

③緊急連絡カードの整備 富士

民生委員児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カード等の配布を行った。

詳細には緊急時に備え、親族や担当民生委員児童委員、自治会長、訪問連絡員等の連絡先及びかかりつけ医等を記載し、本人及び関係機関で共有した。

○対象者 116名

④一人暮らし高齢者見守り事業（23,732円）〔P.73〕【共募配分（一部）】 富士

小地域を単位に関係機関の協力体制のもと会食会を開き、福祉への関心を高めると共に高齢者問題への認識を深め、一人暮らし高齢者を見守る体制の構築を図った。

（協力体制） 民生委員児童委員・食生活改善推進協議会・おたっしや本舗富士

○参加者 延 45人

⑤銭太鼓養成 富士

老人クラブの協力を得て、高齢者の生きがい作りの目的で、積極的に施設訪問やイベント出演、子ども達との次世代交流など介護予防の推進を図った。

○定例練習 24回 延 744人

○イベント等参加 9回 延 175人

（9）健康づくり促進事業（877,408円）

①地域高齢者生活支援事業（84,394円）〔P.71〕【共募配分】 諸富

高齢者の介護予防、健康に対する意識の向上を目的として、血圧測定や健康チェック、保健師による講話、軽運動等を実施した。

○開催地区 24地区

○参加者 延 559人（男性178名、女性381名）

○事業内容 血圧測定、健康チェック、保健師による講話『身体を積極的に動かそう』、レクリエーション

②高齢者支援講習会（26,513円）〔P.67〕 東与賀

高齢者が、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただくことを目的に講習会を実施し各サロンで活用された。

○参加者 延 43人

○内 容 脳トレーニング講習（認知症予防の手遊び等）、楽しいレクリエーション講習

○実施回数 3回

③健康体操教室 東与賀

高齢者を対象に「NPO法人ふれあい館」と協働し、自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

○参加者 延 137人

○内 容 体力測定・健康チェック・ボール体操 他

○実施回数 23回

④出てこん場事業（146,944 円）〔P. 64〕 富士

コミュニティバス利用者を対象に専門の関係機関及びボランティアとの連携により、介護予防や生きがいづくりを支援した。

（実施内容） 健康体操〔年 1 2 回〕
 地域交流（ボランティア団体／折り紙）〔年 6 回〕
 健康講座（富士大和温泉病院）〔年 1 2 回〕
 音楽講座（ハーモニカ演奏と唱歌）〔年 6 回〕
 栄養講座（食生活改善推進協議会）〔年 6 回〕
 人権講話（人権相談員）〔年 8 回〕

○参加者 延 6 0 9 人
 ○講師数 延 9 2 人
 ○実施回数 5 0 回

⑤技能ボランティア養成講座（325,003 円）〔P. 67, 68〕

- ・ 絵手紙ボランティア養成講座（年 6 回） 東与賀 久保田
 【東与賀支所】 参加者 延 9 4 名 （受講生 2 3 名）
 【久保田支所】 参加者 延 5 8 名 （受講生 1 6 名）
- ・ 折り紙ボランティア養成講座（年 4 回） 東与賀（年 6 回） 久保田
 【東与賀支所】 参加者 延 7 9 名 （受講生 2 7 名）
 【久保田支所】 参加者 延 4 2 名 （受講生 1 0 名）
- ・ レクリエーション指導者養成講座（年 6 回） 久保田
 【久保田支所】 参加者 延 1 2 6 名 （受講生 2 8 名）
- ・ 男の工芸教室（年 4 回） 久保田
 【久保田支所】 参加者 延 2 4 名 （受講生 7 名）

⑥布のおもちゃ作り人材育成（294,554 円）〔P. 75〕【共募配分】 川副

【布のおもちゃ講座】

乳幼児が安全で、安心して遊べる「布のおもちゃ」等を補修・作製できる人材を育成し、子育て支援の輪を広げることを目的に実施した。

○開催日 平成 2 5 年 9 月 2 0 日～1 2 月 6 日
 ※上記期間中の第 1・3 金曜日（全 6 回）
 ○場 所 南川副公民館
 ○参加者 1 5 名

【フォローアップ講座】

平成 2 4・2 5 年度受講者を対象に、布のおもちゃグループへの参加促進及び子育て支援者の掘り起こしを目的に実施した。

○開催日 平成 2 6 年 1 月 3 1 日
 ○場 所 南川副公民館
 ○参加者 1 4 名

【先進地視察研修】

平成 2 4・2 5 年度受講者を対象に、すでに活動されている団体と意見交換をおこなうとともに、活動状況や作成作品を見ることにより、活動意欲の増進とグループ活動への参加促進を目的に実施した。

○開催日 平成 2 6 年 2 月 1 2 日
 ○場 所 おもちゃ図書館「さよひめ文庫」（唐津市）
 ○参加者 1 4 名

⑦ふれあいサークル 三瀬

心や体に障がいがある方を対象に、ものづくりや会話を通じて生活意欲をとり戻し
とじこもりの解消を図った。

○開催日 平成25年4月17日、6月4日、9月11日、11月12
日、3月6日（5回）

○場 所 三瀬保健センター

○参加者 延 28人（登録者10名）

（10）高齢者相互交流事業

①地域探訪会（313,919円）〔P.63, 65, 67, 68〕 諸富 三瀬 東与賀 久保田

（諸富）ひとり暮らし高齢者を対象にバスハイクを実施。外出の機会の提供及び参加者・
協力者の親睦を図った。

○開催日 平成25年11月13日、15日、21日（計3班）

○内 容 多久聖廟、道の駅『そよかぜ館』、会食

○参加者 65名（高齢者 計43名、引率 計22名）

（三瀬）外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を提供し、ボランティアの協力により参
加者相互のふれあいととじこもり解消につながった。

○開催日 年4回（平成25年4月10日、7月11日、10月16日、平成
26年3月12日）

○内 容 嘉瀬川ダム、小城市深川家・久保泉町エヒメアヤメ、東名縄文館、
基山ガラス工房、コカコーラ佐賀工場、佐賀城下ひなまつり等の見
学

○参加者 延 93名（高齢者84名・引率9名）

（東与賀）高齢者世帯を対象に新たな魅力を求めて名所・旧跡等を訪ね見聞を広め、参加
者同志の交流が深まり、社会的孤立感の解消に繋がった。

○開催日 平成25年10月3日、10日

○内 容 伝統工芸館・八女人形会館

○参加者 23名

（久保田）外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、
生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図ることを目的に実
施した。

○開催日 平成25年9月19日、9月26日

○内 容 八女伝統工芸館、立花ワイン工場、べんがら村

○参加者 55名

②楽しい生け花教室（30,612円）〔P.65〕 三瀬

地域の方を講師に身近な野の花を利用した教室を実施することで、高齢者が気軽に集う
ことができる場を提供し、同世代とふれあうことでとじこもり防止につながった。

○開催日 年8回（4月8日、5月8日、6月3日、7月3日、8月5日、
9月2日、11月14日、12月20日）

○参加者 延 71人（登録18人）

(1 1) 高齢者等食育推進事業 (223, 116 円)

①ふれあい食事教室 (135, 134 円) [P. 65] 三瀬

高齢者が、地元産の食材を使った料理教室に参加することで、身近な食材のよさや調理法を学び、参加者同士の会話を通して閉じこもり防止や生活意欲の向上が図られた。

○開催日 5月31日、6月14日、7月30日、9月27日、10月18日、
11月22日 (6回)

○参加者 延 93名 (登録33名)

②男専科事業 (72, 558 円) [P. 65] 三瀬

男性が元気で長生き出来るように地場食材の調理や加工(蕎麦打ち・わら細工)を学び、生活意欲の向上を図った。

○開催日 6月19日、10月11日、11月18日、12月4日 (4回)

○参加者 延 45名 (登録21名)

③高齢者食生活支援事業 (15, 424 円) [P. 76] 東与賀 【共募配分】

高齢者が食事を楽しめるよう、食の改善を図るとともに生活の質・維持向上のために老人クラブと協働で料理教室を実施する。また、食育に関する取り組みを普及し教室を通して互いに繋がり、日々の生活に潤いを持てるように食生活を支援した。

○開催日 平成25年8月26日

○参加者 延 40名

(1 2) ふれあいチャレンジ塾 (231, 255 円)

①富士地区 (103, 230 円) [P. 73] 【共募配分 (一部)】 富士

「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人(ボランティア支援者)が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

○参加者 延 95人 (保護者含む)

○支援団体 ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員女性部、体育指導員、
佐賀県レクリエーション協会 他

○開催数 7回

②三瀬地区 (128, 025 円) [P. 74] 【共募配分 (一部)】 三瀬

子ども達が世代を超えた地域の方々とのふれあいを通じて、ふるさとを愛し思いやりの心を持ち、何事にもチャレンジする心を育んだ。

○登録児童 19名

○参加者 延 194人 (児童: 132人、スタッフ・ボランティア: 62人)

○支援者 佐賀県レクリエーション協会、絵手紙グループ、老人クラブ会員、
民生委員児童委員、母子保健推進員、食生活改善推進協議会

○開催数 8回

(1 3) 一輪車育成 (75, 971 円) [P. 64] 富士

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、地域のイベントへの出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特性を知ってもらうために支援を行った。

○参加児童 延 670人

○開催数 68回

(14) 世代間交流事業 (397,955 円)

①ふれあい会食会 [P.75, 76, 77] 【共募配分 (一部)】 川副 東与賀 久保田

(川副) ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の方々が、民生委員児童委員や高齢者関係機関の職員、ボランティアと会し、日々の生活等の不安や困り事を話す機会を設け、孤独感の解消や閉じこもりの予防を図るとともに、地域課題について話し合う場を持つことを目的に実施した。

(東与賀) 『ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会』世代間の交流と併せて、市保健師・栄養士による健康相談や栄養指導等を実施することで、健康で自立した生活の継続が図れるよう支援した。

(久保田) 『ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会』外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。

(単位: 人)

地区名 (開催日)	高齢者	園児・児童	協力者	合計
西川副校区 (11/19)	11		17	28
中川副校区 (11/21)	26		45	71
南川副校区 (11/28)	16		13	29
大詫間校区 (11/29)	7		17	24
東与賀 (8/2)	33	35	38	106
久保田 (12/17)	48	27	53	128

②地域ふれあい交流事業 [P.75, 77] 【共募配分】 川副 久保田

(川副) 夏祭りやグラウンドゴルフ、田植え体験、ウォーキング&交流会等をとおして、高齢者や児童、障がい者や地域住民が、同じ目的・目標に向けてお互いに協力する場を提供し、地域の活力向上のために交流を図った。

(久保田) 『世代間交流事業』高齢者と子どもが一緒に楽しめる身近なスポーツを通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

(単位: 人)

地区名 (開催日)	高齢者	障がい者	児童	協力者	合計
西川副地区 (7/1)	23	—	49	23	95
南川副地区 (8/23)	30	30	10	70	140
大詫間地区 (10/31)	60	—	60	4	124
中川副地区 (11/10)	103	—	49	—	152
久保田地区 (8/20)	34	—	20	5	59
久保田地区 (11/11)	58	—	20	10	88

(15) 施設・地域交流事業 (262,461 円)

①施設の夏祭り支援 富士

高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを支援した。

開催日	場所	参加者 (人)
7月27日	なごみ荘	約300
7月27日	富士学園	約450

②ふれあい夏祭り支援（50,000 円）〔P. 67〕 **東与賀**

障がい者福祉施設と地域住民との交流を深め、施設と一体となってイベントを開催・参加を促すことにより、施設利用者への理解を深めるとともに、障がい者福祉の向上を図る。併せて、ボランティア団体等に協力を促し、より一層の充実を目指した。

開催日	場所	参加者（人）
8 月 1 日	めぐみ園	約 8 0 0

③障がい児との交流会（159,556 円）〔P. 69～71〕【共募配分・歳末配分】 **諸富** **東与賀**

障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい児をもつ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。

（諸富）障がい児サロン事業『会食交流（お好み焼き会）』

- 開催日 平成 2 5 年 7 月 7 日
- 参加者 2 8 人（障がい児及び保護者、民生委員児童委員、ボランティア他）
- 内 容 ボランティアによる余興、お好み焼き作り及び会食交流

（諸富）障がい児サロン事業『クリスマス会』

- 開催日 平成 2 5 年 1 2 月 1 5 日
- 参加者 3 1 人（障がい児及び保護者、ボランティア他）
- 内 容 ボランティアによる余興、ケーキ作り、プレゼント配布

（東与賀）障がい児クリスマス会

- 開催日 平成 2 5 年 1 2 月 2 3 日
- 場 所 東与賀保健福祉センター
- 参加者 4 9 人（障がい児 1 5 名、保護者 7 名、ボランティア他 2 7 名）
- 内 容 ケーキと小物づくり（ペットボトルでパクパクキャンディーケース）
レクリエーション、ゲーム、歌、めぐみ園よさこいソーラン披露、紙芝居等

④障がい者施設交流事業（50,105 円）〔P. 70〕【歳末配分】 **久保田**

小規模作業所利用者及び家族と民生委員児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深めた。

- 開催日 平成 2 5 年 1 2 月 1 8 日
- 対象者 障がい者小規模作業所（久保田サンハウス）利用者・家族
思斉館小学部・中学部特別支援学級児童生徒、民生委員児童委員、
ボランティア、地域住民等
- 内 容 利用者による合奏・合唱、児童生徒による劇、クリスマスプレゼント抽選会

⑤干潟（シチメンソウヤード）清掃活動（2,800 円）〔P. 67〕 **東与賀**

自然保護・環境保護の視点から、稀少植物シチメンソウヤードの清掃活動をボランティア推進協議会、佐賀南ロータリークラブと協働して、ボランティアの充実を図る為に住民参加のもと実施した。

- 開催日 平成 2 5 年 1 0 月 2 7 日
- 場 所 東与賀海岸
- 参加者 1 1 0 人

(16) 歳末地域交流事業 (820,590 円) [P.69]

①世代間交流しめ縄づくり【歳末配分】 三瀬 川副 久保田

地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりをとおして交流を深めるとともに、日本の慣習や風習に込められた想い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ(地域力)の向上を図った。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育んだ。

【三瀬支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 16人

【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

校区名	児童(人)	地域住民(人)	合計(人)	配布数(個)
南川副校区(11/29)	56	50	106	120
大詫間校区(12/6)	25	40	65	15
西川副校区(12/20)	103	50	153	50
合 計	184	140	324	185

【久保田支所】

- 対象者 小学生と保護者
- 参加数 14人

②世代間交流餅つき会【歳末配分】 諸富 富士 三瀬 川副

餅つきをとおして、高齢者や児童、地域住民が世代を越えた交流を深めるとともに、障がいをもつ方々と地域住民の交流を図り、地域コミュニティの向上を図った。

餅つき会及び一人暮らし高齢者への配布【諸富支所】

- 参加者 80名(ボランティア、民生委員児童委員、老人クラブ、小学生等)
- 配布数 259件

餅つき交流訪問事業【富士支所】

- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 118件

世代間交流餅つき会【三瀬支所】

- 参加者 100名(小学生、老人クラブ、地域住民)
- 対象者 75歳以上の単身高齢者・高齢者世帯
- 配布数 36件

世代間交流餅つき会【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民

(単位:人)

校区名	児童(利用者)	地域住民	合計
西川副校区(12/6)	238	50	288
中川副校区(12/13)	116	50	166
大詫間校区(12/13)	60	40	100
まごころ授産所(12/25)	30	40	70
南川副校区(1/21)	63	50	113
合 計	507	230	737

③高齢者世帯会食交流会（86,093 円）〔P. 69〕【歳末配分】 **東与賀**

外出の機会が少ない高齢者が一堂に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。

- 開催日 平成 25 年 12 月 19 日
- 対象者 70 歳以上のひとり暮らし高齢者
75 歳以上の高齢者のみ世帯
- 参加者 72 名（高齢者 29 名；協力者 43 名）
- 内 容 ビンゴゲーム・踊り披露・手遊び
- 支援者 民生委員児童委員・ボランティアの友・保健師・栄養士・おたっしや本舗

④年末年始訪問事業（14,105 円）〔P. 69〕【歳末配分】 **久保田**

折紙講座受講者が作成した折紙を、会食会時にプレゼントとして渡すことにより、住民相互の交流を図る。また、絵手紙講座受講者の協力を得て、出来上がった作品を年賀状として送付し、高齢者と地域との交流を深めた。

折り紙

- 対象者 70 歳以上の一人暮らし高齢者及び 75 才以上の高齢者のみの世帯
- 配布数 45 人

絵手紙

- 対象者 80 歳以上の一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
- 配布数 49 人

5 福祉教育・啓発活動（1,801,291 円）

（1）福祉体験学習指導者派遣事業（976,202 円）〔P. 69〕【共募配分】

地域・学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等）が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者（クローバーの会）を派遣した。

種 別	延講座数（回）	派遣校数（校）	派遣先
アイマスク指導	107	19	循誘小、神野小、兵庫小、高木瀬小、北川副小、鍋島小、新栄小、開成小、諸富北小、諸富南小、春日小、川上小、西川副小、大詫間小、東与賀小、成章中、城南中、金泉中、致遠館中、佐賀北高、佐賀銀行
疑似体験指導	125	17	
車椅子指導	72	18	
事前協議	40	21	
合 計	344		

（2）実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

種 別	人数	実習期間	学校・事業所
社会福祉士	6 校 15 名	23 日 (または 10 日)	久留米大学、九州保健福祉大学、西九州大学、長崎国際大学、九州医療専門学校、共生館国際福祉医療カレッジ
介護福祉士	1 校 1 名	10 日間	西九州大学

体験学習 (教員免許特例法)	3校 40名	5日	佐賀大学、佐賀女子短期大学、 西九州大学
保育実習	2校 4名	10日	中村学園短期大学部 筑紫女学院短期大学
老人センター見学実習	1校 22名	1日	佐賀県立総合看護学院

(3) 社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新 (4,403,614円) [P.55, 60]

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回(春・夏・秋・新春号)市内全世帯及び事業所に配布した。

また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。

さらに新しい情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

①社協だより“愛・あい”の発行

○1回の発行部数 102,400部(宅配)

○1回の発行部数(点字版) 22部(郵送)

②佐賀市社協ウェブページ(ホームページ)の運営

○ホームページ開設 平成21年5月21日

(4) 諸富支所だよりの発行 諸富

諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため諸富地区全世帯に回覧した。

また、町内の福祉施設、医療機関、行政、幼稚園・保育園、小・中学校等にも配布した。
(社協事業の紹介や講座等の案内、各種募金の使途明示、その他地域におけるふれあい活動の紹介等)

○発行回数 12回(月1回)

○配布方法 町内回覧

○回覧部数 459部/回

○福祉施設等への配布 19ヵ所(毎月配布)

(5) 第9回佐賀市社会福祉大会の開催 (775,206円) [P.55]

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

○開催日 平成26年2月19日

○場 所 佐賀市文化会館 中ホール

○来場者 約750名

○被表彰者 68名

・表彰状 社会福祉団体役職員：6名、民生委員児童委員：47名
ボランティア団体：2団体

・感謝状 福祉事業等寄付者：12名・7団体

(6) 被介護者体験研修 (49,925円) [P.66] 川副

住み慣れた場所で安心して生活できる協力体制を作るため、言葉かけの重要性を再認識できる研修会を開催した。

○開催日 平成26年3月14日

○場 所 大詫間公民館

- 参加者 地域住民 20名
- 内 容 地域住民に実際に介護を受ける側として、講師や参加者同士による体位変換や移乗、車椅子移動等を体感。

(7) 大人の福祉体験学習 (1,980 円) [P. 68] 久保田

家族に介護が必要になった時、年老いた人自身がその家族の介護をしなければならないという問題が起きている。介護に直面する前に、福祉についての体験をすることによって、家族介護に対する精神的な負担軽減を図るために実施した。

- 開催日 平成26年2月1日、8日
- 対象者 地域住民
- 参加者 延 17名
- 内 容 高齢者疑似体験、車いす体験、佐賀県在宅生活サポートセンター見学

6 地域子育て支援センター事業（6,831,107円）〔P.62, 69～77〕【共募配分（一部）】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

諸富支所を基幹とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図った。

（1）子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

①つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。

（単位：人）

つどいの広場	開館日数 開催日	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
諸富ふれあい広場 (佐賀市産業振興会館内)	239 (火)～(土)10:00～16:00	5,052	3,873	165
ふれあい一む (富士支所庁舎内)	245 (月)～(金)10:00～16:00	109	104	48
大和まほろば広場 (大和老人福祉センター内)	97 (火)(水)(金)10:30～15:30	285	316	38
みつせスマイルキッズ広場 (三瀬保健センター内)	12 毎月概ね20日10:00～12:00	112	85	82
むつごろう文庫 (保健福祉会館内)	23 第1・4(月)10:00～15:30	408	439	41
よかつこ広場 (東与賀福祉センター内)	24 第2・4(火)10:00～12:00	64	59	22

②子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った。

（単位：人）

ひろば名	サロン名	実施回数 開催日	実施内容	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	赤ちゃん広場	12回 第1(火)	乳児対象の発育相談とわらべ唄	158	154	—
	かすたねっとサロン	13回 第4(金)	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃづくりや遊び	401	310	138
	にこにこ広場	11回 第3(水)	アンパンマン体操、ふれあい遊び	233	184	30

	絵本の広場	11回 第2(木)	絵本の読み聞かせ	111	86	22
	布おもちゃで遊ぼう	11回 第1(水)	布遊具を使ったふれあい遊び	152	110	31
	昔遊び	12回 第4(火)	お手玉遊び・手遊び等ふれあい遊び	144	104	21
	あつまろっと広場	3回 5・10・3月	スタッフによるふれあい交流	82	58	10
大和まほろば広場 (大和)	まほろばひろば	23回 月2～3回(水)	出張ひろば、いもほり、運動会 オカリナコンサート、りんご狩り 味噌づくり、おひな様づくり ハンドベルコンサートなど	178	202	51
	音と遊ぼう	12回 第1(水)	音楽リトミック	152	164	27
	赤ちゃん広場	6回 奇数月第4(水)	乳幼児の発育相談(保健師)	27	27	6
	おはなしの部屋	7回 不定期 4・7・8・10・12・1・3月	絵本の読み聞かせ	46	46	19
	ベビーマッサージ	4回 6・9・10・2月	ベビーマッサージ(パパ編:1回)	79	68	4
	まほろばサロン	4回 5・7・3月	マジック&アートバルーン 七夕フェスティバル、昔遊び 音楽会	126	228	42
ふれあいるーむ (富士)	ふじっこサークル	12回 第1(水)	七夕会、温泉遊び、ipad 教室 ハロウィンづくり、クリスマス会 キャンドルづくり、おはなし会 アロマ、運動でリフレッシュ、 ベビーマッサージ等	80	104	3
	ぐんぐん金曜日	38回 (金)		367	336	45
	わらべうたサロン	12回 第3(火)		76	90	4
	のびのびタイム	10回 第2(火)		45	56	3
みつせスマイルキッズ 広場(三瀬)	みつせ スマイルキッズ	12回 概ね10日	バスハイク、布おもちゃづくり ミニ運動会、リンゴ狩り、七夕会、 クリスマス会、おやつ作り	112	85	82

よかっこ広場 (東与賀)	よかっこ広場	1 2 回 第 3 (水)	ベビーマッサージ、よかよか運動会、幼児安全法講習会、クリスマスコンサート、育児相談	3 7 3	3 6 0	2 0
なかよし広場 (久保田)	なかよし広場	1 1 回 第 3 (月)	リズムダンス、ミニ運動会、乳幼児救急法、クリスマス会 布おもちゃ遊び、大型絵本	1 5 0	1 2 0	4
むつごろう広場 (佐賀市おもちゃ図書館)		1 1 回 第 1 (月)	布おもちゃで遊ぼう	2 2 5	1 9 9	4 0
		1 2 回 第 4 (月)	童話の読み聞かせ	2 1 4	2 1 0	6 1

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施（各つどい場で実施）

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

①子育てに関する相談

(単位：件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
諸富	207	12	16	7	1	111	3	129	243
富士	33					33			33
東与賀	15	2	1	1	0	19			19

②専門家による子育て相談（年6回）

○相談件数 129件

③子育て講座の開催（4回連続講座を2か所で実施）

(単位：人)

講座名	1回目;諸富支所	2回目;本所	合計
乳幼児の成長	41	40	81
離乳食実習	35	40	75
幼児救急法	46	36	82
親子ふれあい遊び	45	32	77
合計	167	148	315

④子育て講座「NPプログラム」の開催（40,905円）〔P.69〕【歳末配分】大和

親同士の仲間づくりを促し、不安や戸惑いを感じている子育て中の親同士が悩みや関心のあることを話しながら「自分に合った子育ての仕方」を見つけるプログラムを実施した。

- 講座名 NP (Nobody's Perfectの略) “完璧な親なんていない”
- 開催日 平成25年11月5日～11月26日（6回）
- 場 所 佐賀市大和老人福祉センター
- 参加者 8組（延 69人）
- 内 容 0歳から3歳の子どもを育てる母親を対象に、生活習慣、遊び、食事、しつけなど毎回テーマを決め、参加者同士で意見を出し合った。

⑤公開講座「地域ぐるみで子どもを見まもりたいっ！」の開催〔P.72〕【共募配分】大和

ひろばで活動して貰える子育てサポーターやボランティアの確保の一策として、また、「地域ぐるみで子どもを見守る体制づくり」の機運を高める方策として、地域の方々と一緒に考えるキッカケづくりを行った。

- 開催日 平成25年9月30日
- 場 所 佐賀市大和支所庁舎
- 参加者 73人
- 内 容 地域の子どもに関心のある方を対象に、「ボランティアとは？」をテーマに地域ぐるみで子どもを見守る体制づくりに向け、地域の方々と一緒に考えた。

(3) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援

①子育てサポーターの育成

子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。

	開催場所	回数(回)	内容	参加延人数(人)
研修会	諸富	2	幼児安全法、抱っこ講習、活動の留意事項、意見交換他	60
	視察研修	1	『子どもの村福岡』視察	24

②子育てサークル等の育成・支援

「ひろば」に関わるサークル同士の交流会等の開催や活動の場を提供することにより、子育てサークルの育成・支援を行った。

○子育てサークルの交流

センターのサークル交流事業として“出会いの広場”を開催

○支援サークル

支所	諸富	大和	富士
支援サークル数	5	2	1

(4) 乳幼児一時預かり事業

①広場での一時預かり

子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。

○利用者 延 19名

②出張託児の実施（基幹型）

子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。

○依頼件数 延 29件

(5) 子育て支援に関する情報の提供

子育て情報紙を随時発行し、行事の案内・報告を行うとともに社協だより“愛・あい”やホームページ及び市報さがでも子育て支援に関する情報提供を行った。また、子育てサークルによる子育て情報紙「ハッピーママ」と「ふれあい広場だより」を月1回発行した。

①ホームページによる情報提供

子育てに関する最新情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

②子育て情報紙「ハッピーママ」・「ふれあい広場だより」の発行（月1回）

○主な配布先 市内子育て支援センター、図書館、児童センター、保健センター等

(6) 地域の子育て力を高める取組みの実施

地域の実情に応じ、地域の子育て力を高めることを目的とした取組みについて、積極的に実施するよう努めた。

①「出前交流広場」の開催

地域のボランティアとともに地区公民館等で「交流サロン」等を開催し、地域交流の場の支援を行った。

○実施回数 16回（西与賀地区：12回、新栄地区：4回）

○参加者 延 218名（乳幼児113名、保護者105名）

②地域世代間交流事業への参画

地域世代間交流事業（こどもフェスタ等）への参画を通して、親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

【出会いの広場】

○開催日 平成25年5月11日

○内 容 佐賀市社協子育て支援センター事業の紹介 (単位：人)

乳幼児	保護者	ボランティア等	関係機関	合計
63	52	60	43	218

【こどもフェスタ】

○開催日 平成25年6月8日

○内 容 ボランティア団体等による体験コーナー (単位：人)

子ども	大人	小・中学生スタッフ	ボランティア 他	合計
2 9 7	1 5 6	4 4	1 1 6	6 1 3

【地域世代間交流行事の支援】

地区自治会館等で開催される世代間交流行事の支援を行い、地域ぐるみの子育て支援の促進を図った。

- 実施回数 2回（徳富1区、浮盃地区）
- 参加者 延 52名（乳幼児・児童21名、保護者等31名）

③児童の居場所づくり

ふれあい広場において、夏休み等を利用しての小学生のボランティア体験の受入体制を整え、乳幼児や地域住民とのふれあいの場の提供を図った。

④父親同士の交流推進

父親同士のつながりを促進するため、父親参加型のサロン（土に親しむサロン）を開催した。

- 実施回数 3回
- 内容 芋苗植え、つる返し、収穫
- 参加者 延 31名（子18名・大人13名）

7 各種福祉団体支援事業

（1）福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業（2,256,000円）〔P.56〕

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

○運営費助成（7団体）

- 佐賀市遺族連合会 佐賀市原爆被害者の会
- 佐賀市視覚障害者福祉協会 佐賀市肢体不自由児・者父母の会
- 佐賀市身体障害者福祉協会連合会 佐賀市母子寡婦福祉連合会
- 佐賀市老人クラブ連合会

○事業助成（2事業）

- 佐賀心理リハビリテーションキャンプ費（佐賀県若楠ふたばの会）
- 佐賀市自治会協議会研修費（佐賀市自治会協議会）

（2）福祉バスの利用〔P.45〕※本所法人運営事業で実施

特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスによる送迎を行った。

- 登録団体 83団体
- 利用件数 164件

8 共同募金配分金事業（19,757,800円）〔P.69～77〕

（1）共同募金配分金事業

佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)	頁数
全市	防犯灯の設置助成	2,387,086	2,373,138	34
	在宅高齢者会食会助成事業	465,294	465,294	11
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,320,000	2,850,000	7

	福祉体験学習指導者派遣事業	976,202	976,202	22
	むつごろう文庫・広場	254,780	254,780	27
	小地域見守り活動事業	341,386	341,386	14
諸富	地域高齢者生活支援事業	84,394	84,394	15
	障がい児との交流会	17,606	17,606	20
	地域子育て支援センター事業	5,825,143	961,000	25
大和	まほろばひろば	63,267	63,267	26
	まほろばサロン	114,733	102,933	26
富士	ひとり暮らし高齢者見守り事業	23,732	14,732	15
	ふれあいチャレンジ塾	103,230	94,230	18
	ふれあい一む（子育て支援事業）	213,038	213,038	26
三瀬	ふれあいチャレンジ塾	128,025	118,425	18
	みつせスマイルキッズ広場	71,275	57,575	26
川副	布のおもちゃづくり人材育成	294,554	287,054	16
	ふれあい会食会	78,774	60,774	19
	地域ふれあい交流事業	128,172	128,172	19
東与賀	高齢者食生活支援事業	15,424	9,824	18
	ふれあい会食会	74,110	67,460	19
	よかつこ広場	193,916	165,716	27
久保田	ふれあい会食会	92,669	79,008	19
	地域ふれあい交流事業	24,230	24,230	19
	なかよし広場	88,762	88,762	27
合 計			9,899,000	

（２）歳末たすけあい配分金事業〔P.69〕

前年度、運動期間中（１２月１日から１ヶ月間）に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	頁数
本所	年末・年始地域福祉交流事業（校区社協）	4,374,000	8
	在宅高齢者会食会助成事業	1,196,506	11
	事務費	20,895	—
諸富	障がい児との交流会	46,370	20
	世代間交流餅つき会	168,683	21
大和	年末地域ふれあいまつり事業助成	41,260	12
	高齢者ふれあい会食会助成事業	367,990	13
	子育て講座（NPプログラム）	40,905	28
富士	世代間交流餅つき会	123,000	21
三瀬	世代間交流しめ縄作り	45,100	21
	世代間交流餅つき会		21
川副	世代間交流しめ縄作り	119,519	21
	世代間交流餅つき会	212,495	21
東与賀	障がい児との交流会	95,580	20
	高齢者世帯会食交流会	86,093	22
久保田	障がい者施設交流事業	50,105	20
	世代間交流しめ縄作り	51,595	21
	年末年始訪問事業	14,105	22
合 計		7,054,201	

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（6,787,100 円）〔P. 60〕

※決算額のうち、100,000 円は P. 23「社協だより“愛・あい”の発行」にも含む。

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

※相談や支援計画作成は無料。ただし、契約締結後の支援については利用料が必要となる。

（1）基幹的社協の受託

生活支援専門員の配置

基幹的社協として生活支援専門員を配置し、佐賀市・多久市・小城市・神崎市及び吉野ヶ里町における相談や契約の手続き等を、各市町社協と連携し行った。（単位：人）

市町社協	新規契約者数	解約者数	契約者数
多久市	2	2	8
小城市	0	0	4
神崎市	2	3	6
吉野ヶ里町	2	0	4
合 計	6	5	22

（2）福祉サービス利用援助事業の実施（佐賀市分）

①福祉サービスの利用援助サービス

- 福祉サービスに関する情報提供、相談、助言
- 福祉サービスの利用手続援助（申込手続同行・代行、契約締結）
- 利用している福祉サービスに苦情・不満がある場合の苦情解決制度の利用手続支援

②日常的な金銭管理サービス

- 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- 福祉サービス利用料の支払い代行
- 公共料金・家賃・医療費・日用品等の代金の支払い手続き代行
- 生活費の使い方についてのアドバイス
- 上記に必要な預貯金の出し入れ、解約などの手続き
- 施設や病院が行う金銭管理に対する見守り

③書類等の預かりサービス

- 定期預金の通帳や年金証書・印鑑など書類等の保管
- 銀行の貸金庫を利用したの保管（別途利用料（実費）が必要）

相談・契約等件数

（単位：件）

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談・問合せ	906	2,328	1,654	21	4,909
新規契約	23	8	8	0	39
解約	13	4	0	1	18

契約者数 ※平成26年3月31日現在

（単位：人）

支所名	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件/年)
本 所	44	23	23	3	93	1,951
諸 富	3	0	3	0	6	43
大 和	7	5	0	0	12	121

富 士	1	0	0	0	1	3 5
三 瀬	0	2	0	0	2	2 5
川 副	6	3	4	1	1 4	1 9 1
東与賀	0	0	1	0	1	2 4
久保田	2	1	3	0	6	1 1 4
合 計	6 3	3 4	3 4	4	1 3 5	2, 5 0 4
H 2 4 度末	5 5	2 7	2 9	5	1 1 6	2, 1 2 0

(3) 成年後見事業（法人後見）の体制整備<新規>

平成26年度からの実施に向け、家庭裁判所へ事業実施について話し合いの場を設けた。これを受け職員の研修等を行った。

2 生活福祉資金貸付事業（5,512,000円）〔P.108〕

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の相談援助を行った。

○対象世帯

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

○資金種類（5種類）

生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金

（単位：件）

	生活福祉資金	臨時特例つなぎ資金	合計
相談等	1 6 3	6	1 6 9
貸付	3	1	4

○生活福祉資金相談内容 総合73件、福祉61件、教育21件、不動産8件

3 福祉資金（小口）貸付事業（3,988,849円）〔P.109〕

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

	件数（件）	金額（円）
相談・問い合わせ	3 1 6	
貸付	1 4 7	3, 7 9 4, 7 1 2
償還	2 2 3	3, 8 9 9, 5 1 5

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付けに対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため

4 住民の福祉活動の推進・支援（3,696,286円）

(1) 小災害罹災世帯に対する見舞（370,000円）〔P.56〕

災害により罹災者が物的・精神的な援助が必要な状況において、自力更生の一時的な援助を図るため見舞金及び見舞品を支給した。

	災害件数	罹災世帯数	罹災人数	見舞金（円）
火災	2 0	2 1	5 3	3 7 0, 0 0 0
水害	—	—	—	—
合計	2 0	2 1	5 3	3 7 0, 0 0 0

(2) 児童遊園地整備助成金（939,200円）〔P.56〕

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	2	153,800	春日北	1	70,400
北川副	2	117,800	南川副	2	77,700
本 庄	3	84,400	西川副	1	60,000
金 立	1	60,000	中川副	2	41,200
蓮 池	1	100,000	東与賀	4	152,200
諸 富	1	21,700	合 計	20	939,200

(3) 防犯灯の設置助成 (2,387,086 円) [P. 70] 【共募配分】

市内地区自治会等が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修・切り替え及び蛍光管等の取り替え等を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	12	35,300	新 栄	12	28,000
循 誘	13	84,150	若 楠	26	102,800
日 新	40	75,550	開 成	18	61,420
赤 松	10	48,550	諸 富	46	61,012
神 野	17	293,587	春 日	14	70,950
西与賀	30	78,450	春日北	17	48,868
嘉 瀬	15	26,450	川 上	12	115,400
巨 勢	11	63,050	松 梅	3	18,650
兵 庫	20	59,400	富 士	16	231,800
高木瀬	29	126,150	三 瀬	2	4,800
北川副	40	232,850	南川副	2	7,000
本 庄	35	116,900	西川副	1	12,000
鍋 島	24	135,700	中川副	1	12,000
金 立	19	29,075	東与賀	39	72,962
久保泉	22	33,800	久保田	47	47,962
蓮 池	5	52,500	合 計	598	2,387,086

(4) 備品の貸し出し

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

また、高齢者や障がい者等が在宅生活の継続を支援するため、ベッド、エアマット、電動ベッド、電動四輪車等を貸し出し、住民福祉の向上に努めた。

(単位：台)

		本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	計
車椅子	保有数	1 9	5	1 7	6	2	6	7	9	7 1
	延利用数	3 7 6	6	2 8	4	1	2 6	1 4	9	4 6 4
4 点杖	保有数	1								1
	延利用数	0								0
電 動 ベ ッ ド	保有数								2	2
	延利用数								0	0
手 動 ベ ッ ド	保有数				3					3
	延利用数				0					0
エアマッ ト	保有数				2				1	3
	延利用数				0				0	0
電 動 四 輪 車	保有数								6	6
	延利用数								3	3
液晶プロ ジェクター	保有数	1			1				1	3
	延利用数	1			8				0	9

スクリーン	保有数	1		1	1				1	4
	延利用数	0		6	14				0	20
マイク式	保有数	1		1					1	3
	延利用数	3		2					0	5
もちつき道具一式	保有数		2							2
	延利用数		9							9

- (5) 県内高齢者フリー定期券（昭和自動車シルバーパス）販売（受託事業）[P. 50, 51] 富士 三瀬
 社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促進を図った。

○対象者 75歳以上の高齢者（昭和11年3月31日以前に生まれた方）
 ○販売数 205枚

5 祭壇貸付事業〈特別会計〉(5,104,296円) [P. 110] 久保田

葬儀の費用負担を軽減するため、自宅等で葬儀を行う場合に指定委託葬祭業者が祭壇の飾りつけ及び撤去を行い、地域住民の福祉の増進を図った。

	A型	B型	C型	計
利用料(円)	31,500	28,350	26,250	
貸付件数(件)	0	1	3	4

6 総合相談事業 富士

(1) 暮らしのトラブル無料法律相談

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、ボランティアの協力により、市民からの相談に応じる体制を整えた。

○実施回数 第3火曜日 15:00～17:00
 ○相談員 司法書士

7 健康・生きがい促進運営事業 (1,763,000円)

(1) 流水浴機器等管理運営事業 (1,763,000円) [P. 82] 三瀬

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

○受付時間 月曜日、水曜日、金曜日 10:00～15:00
 火曜日、木曜日 13:00～16:00
 ○利用者 延 2,703人

8 三瀬地域巡回バス運営事業 (3,120,000円) [P. 83] 三瀬

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日5便運行し、住民福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

稼働日数(日)	延利用人数(人)	内訳	
		一般(人)	児童(人)
244	3,262	1,726	1,536

佐賀市三瀬支所庁舎を基点に東部地区内を運行

9 放課後児童クラブ事業 (12,837,600円) 大和 川副

地区内の小学校に通学し、保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び長期休暇

期間中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

(1) 松梅児童クラブ (2,605,900 円) [P.80]

- 場 所 松梅児童館
 ○対象者 小学1年生～6年生までの児童
 ○利用日時 月曜日～金曜日 放課後～18:30、土曜日 8:30～17:00
 長期休暇(夏・冬・春休み)
 月曜日～金曜日 8:30～18:30、土曜日 8:30～17:00
 ○開設日数 296日
 ○利用児童数 延 3,061人(1日平均 10.4人)

(2) 南川副児童、西川副児童、中川副児童及び大詫間児童クラブ (10,231,700 円) [P.84]

- 場 所 各小学校及び川副児童館
 ○対象者 小学1年生～3年生までの児童
 ○利用日時 月曜日～金曜日 放課後～18:30、土曜日 8:00～18:30
 長期休暇(夏・冬・春休み) 月曜日～土曜日 8:00～18:30

通常時(土曜を含む)

区分	南川副	西川副	中川副	大詫間	合計
開設日数(日)	204	242	218	利用者なし	
延人数(人)	3,085	4,755	1,114		8,954

長期休暇期間(2ヶ所にて実施)

区分	春季休業	夏季休業	冬季休業	学年末	合計
開設日数(日)	7	27	5	5	44
延人数(人)	240	1,413	189	171	2,013

10 老人福祉センター等運営事業 (73,839,189 円)

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所(平松、巨勢、金立、開成、大和)の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

(1) 佐賀市平松老人福祉センター (17,674,361 円) [P.86]

①平松老人福祉センター事業

- 入浴日 月、水、木、金曜日 11:00～15:00
 ○クラブ活動 民謡、大正琴、書道、囲碁、生花、カラオケ(2つのクラブあり) 民舞、将棋、水墨画、フォークダンス、吟詠、謡曲、陶芸、俳句、三味線、自彊術(じきょうじゅつ)、麻雀、脳いき、絵手紙
 ○年間行事 健康相談 第1木曜日 13:30～15:30
 囲碁大会 第2土曜日
 将棋大会(奇数月) 第4土曜日
 文化祭 敬老月間における作品展示及び発表会

○年間の利用者数

(単位:人)

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	26,817	314	27,131	
女	15,614	47	15,661	
合計	42,431	361	42,792	147

②佐賀市平松清風大学（開講日：火曜日 ただし8月は休み）

長寿社会の中で高齢者が積極的に学習に取り組み、生活をより充実させ、生きがいを求めて地域社会の活動に順応できる人材を育成するために開設した。

○学生数 125名（1年生 64名 2年生 61名）

○入学式 平成25年4月16日

○教育過程

・教科学習 一般教養、郷土史、健康、園芸

・企画学習 グループ討議、各学年ふれあい授業、自主企画授業

1・2年生交流授業、同期生講師による講義（私に言わせて！）

・学生活動 「文集ひらまつ」及び「学校新聞せいふう」の発行、運動会、研修旅行（日帰り・一泊）

○年間講義等数 1年生 37回、2年生 36回

○クラブ活動 グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、絵手紙、パソコン

○卒業式 平成26年3月4日

（2）佐賀市巨勢老人福祉センター（15,667,783円）〔P.88〕

①巨勢老人福祉センター事業

○入浴日 月、火、木、金曜日 11:00～15:00

○クラブ活動 大正琴、舞踊、書道、フラダンス、囲碁、生花、カラオケ、フォークダンス、吟詠、謡曲、童謡唱歌、写真、編物、水墨画、ハワイアン演奏

○市事業協力 脳いきいき健康塾

○年間行事 健康相談（保健師）

第1火曜日 10:00～12:00

第4金曜日 13:00～15:00

第1水曜日（偶数月）10:00～11:30

囲碁大会 第3水曜日

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	12,961	462	13,423	
女	13,859	317	14,176	
合計	26,820	779	27,599	95.8

②巨勢シルバーカレッジ（開講日：第1・第3木曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを志すために開設した。

○学生数 54名（1年制）

○入学式 平成25年4月18日

○講義 一般教養、郷土史、健康づくり等 年19回

○修了式 平成26年3月20日

（3）佐賀市金立いいいの家（12,065,856円）〔P.90〕

①金立いいいの家事業

○入浴日 月、火、木、金曜日 11:00～15:00

○クラブ活動 民謡、囲碁、フォークダンス、グラウンドゴルフ、大正琴、書道、生花、歌謡曲、押花、パッチワーク、気功、園芸、編み物、健康マージャン

○市事業協力 脳いきいき健康塾、元気アップ教室（市委託事業）

○年間行事 健康相談（保健師）

第2火曜日

10:00～12:00

13:30～15:30

囲碁大会 第2水曜日

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	8,206	143	8,349	
女	10,202	163	10,365	
合計	18,408	306	18,714	64

②金立いの家文化講座（開講日：第3金曜日）

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」、「人とのふれあい」、「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

○学生数 45名（1年制）

○入学式 平成25年4月19日

○講義 一般教養、健康づくり、園芸、料理、郷土史等 年12回

○修了式 平成26年3月14日

（4）佐賀市開成老人福祉センター（13,188,665円）〔P.92〕

①開成老人福祉センター事業

○入浴日 月～金曜日 11:30～15:00

○クラブ活動 囲碁、将棋、大正琴、折紙

○市事業協力 元気アップ事業

○年間行事 健康相談（保健師） 第1月曜日 13:30～15:30

囲碁大会 第2月曜日

大正琴 第1・第3水曜日

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	9,322	847	10,169	
女	3,646	33	3,679	
合計	12,968	880	13,848	47

○元気アップ事業で開成老人福祉センター集会室利用者数 4,239人（スタッフ含む。）

（5）佐賀市大和老人福祉センター（15,242,524円）〔P.95〕

①大和老人福祉センター事業

○入浴日 月～金曜日 11:00～15:00

○年間行事 健康相談（保健師） 第1水曜日 13:30～15:30

（単位：人）

年間利用者数	市内	市外	合計	1日平均
男	5,190	134	5,324	
女	5,509	49	5,558	
合計	10,699	183	10,882	37.4

②温泉バスの運行

既存の公共交通機関等での移動が困難な高齢者が、老人福祉センターを円滑に利用できるよう、地区内全域を巡回する温泉バスを運行し、高齢者の生きがいがづくりや健康増進を支援した。

○運行日時 月～金曜日（迎え：10:00～ 送り：14:30～）

○利用料 無料

③まほろば高齢者講座

温泉バス利用者に対し年2回、市内の歴史的な史跡や施設を案内し、理解を深めるとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長を促した。

○史跡・施設 【春コース】肥前国府政庁跡（久池井地区）、石井樋公園・さが水ものがたり館（駄市川原地区）

【秋コース】肥前名尾和紙 手すき和紙工房（名尾地区）、健福寺（大願寺地区）、男女神社（今山地区）

○参加者 延 8日間、延 59名

1 1 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業（31,268,401円）〔P.93〕

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

○職員数 5名（所長1名、母子支援員2名、少年指導員2名）

○定員 19世帯

○入所世帯数 13世帯（35名）※平成26年3月末現在

○世帯主平均年齢 35.7歳

○平均在所期間（世帯） 23.9ヶ月

（単位：世帯）

1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	5年以上	合計
4	2	2	5	0	13

○年間行事 子どもの日会、七夕会、クリスマス会、進級お祝い会、避難訓練（月1回）、消防訓練（年2回）、母の会（月1回）、健康診断（年2回）、外庭掃除（月1回以上）、大掃除（夏季・年末）

1 2 松梅児童館運営事業（20,214,755円）〔P.97〕 大和

児童の健康を増進し情緒を豊かにすることを目的に健全な遊び場を提供した。また、松梅校区に幼稚園・保育園がないため、就学前の保育を行った。併せて、子育て家庭の支援を行った。

開館日数 （日）	利用者（人）					
	館児	幼児	小学生	一般	総計	1日平均
295	5,530	968	672	1,069	8,239	27.9

（1）保育事業（1歳児～5歳児）「児童数：25名」

○利用日 月曜日～土曜日 8：30～17：00

○延長保育 月曜日～金曜日 18：30まで

○実施内容 お遊戯、工作、自然散策、体育遊び、お茶教室、季節行事等
（保育カリキュラムによる保育）

（2）夏祭りおよび児童館・小・中合同親子ふれあい餅つき大会の実施

○実施内容 （夏祭り）バザー、露店出店、ビンゴ大会
（餅つき）松梅校小学部および中学部と合同。「親子ふれあい餅つき大会」

（3）父母の会活動支援

歯科教室、苺摘み、歓迎遠足、事故防止講話、七夕会、美化活動、除草作業、バス遠足、各種研修参加

1 3 佐賀市産業振興会館管理事業（1,461,089円）〔P.79〕

地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大集会室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
106	8,619	118	2,721	161	2,296	72	1,310	13	818	470	15,764

1 4 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		市民相談室・ビリヤード室		相談室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
115	1,551	57	1,941	7	200	88	1,885
調理室		集団指導室		機能訓練室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
14	403	88	3373	60	2,862	429	12,215

1 5 佐賀市久保田総合センター管理事業（2,690,000円）〔P.85〕

文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター（4施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉センター		農村環境改善センター		高齢者交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
537	6,484	1,378	26,798	144	2,545	137	5,383	2,196	41,210

関連施設

高齢者小規模作業所		高齢者ふれあいプラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
50	328	44	1,284	94	1,612

IV. 在宅福祉サービス部門

1 居宅介護支援事業（19,229,744円）

本所

川副

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

（1）居宅介護支援佐賀事業所（7,606,977円）〔P.99〕

○介護支援専門員体制 6名（常勤兼務4名、非常勤専従2名）

○要介護認定調査 48件

○ケアプラン管理者数 (単位：人)

介護度	年間管理数	月平均
要介護（1～5）	576	48.0
要支援（1～2）	92	7.7

（2）居宅介護支援南部事業所（11,622,767円）〔P.104〕

○介護支援専門員体制 2名（常勤専従2名）

○要介護認定調査 33件

○ケアプラン管理者数 (単位：人)

介護度	年間管理数	月平均
要介護（１～５）	6 9 8	5 8 . 2
要支援（１～２）	8 4	7 . 0

2 訪問介護事業（12,001,866 円）〔P.105〕 川副

介護保険法により介護認定を受けた方が、在宅において自立した日常生活を送れるように、「身体介護」「家事援助」「両方の複合型」等のサービスを提供するため、ケアプランに基づいて訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣した。

サービス提供件数 (単位：件)

介護度	サービス提供件数	月平均
要介護（１～５）	2, 4 6 7	2 0 5 . 6
要支援（１～２）	9 2 2	7 6 . 8

サービスの種類と件数 (単位：件)

種別	サービス提供件数	月平均
身体介護	3 4 8	2 9 . 0
家事援助	1, 4 1 8	1 1 8 . 2
複 合 型	7 0 1	5 8 . 4

3 通所介護事業（78,137,877 円） 開成 大和

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

○利用料金 介護保険の適応相当分（個人負担：１割）、昼食費 4 0 0 円／回

○利用日 月～金曜日（年末年始を除く。）

9：30～16：00（５時間以上７時間未満）

（１）開成デイサービスセンター事業（42,452,632 円）〔P.100〕

○行事等 花見（彼岸花・コスモス・梅・桜）、初詣（祐徳稲荷神社）、誕生会、敬老会、季節行事（節分・桃の節句等）

○交流会 ボランティア団体、開成小、開成保育園 他

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
2 5 6	4, 8 2 1	1 8 . 8

（２）デイサービスセンターさくら事業（35,685,245 円）〔P.102〕

○行事等 花見（桜・チューリップ・紅葉・芝桜など）、三社参り、運動会、誕生会、季節行事（節分・敬老会など）、レクリエーション、ショッピングなど

○交流会 音楽ボランティア、ボランティア団体ほか

実施日数（日）	延利用者数（人）	１日平均（人）
2 5 6	5, 1 3 9	2 0 . 1

4 富士地区コミュニティバス実験運行事業（2,318,175 円）〔P.81〕（富士地区高齢者憩いの家事業）

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

○対象者 6 5 歳以上の高齢者で、介助なしで行動ができる者

○利用料金 1 0 0 円／片道

○運行日 火、水、木曜日（３回／週）1 0：00～1 5：00

○事業内容

- ・マイクロバスによる利用者の送迎
- ・地域間交流
- ・温泉入浴サービスの提供

実施日数(日)	延利用者数(人)	1日平均(人)
119	1,668	14.0

5 身体障がい者居宅介護支援事業 (327,603 円) [P. 107] 川副

在宅で生活を営む身体障がい者手帳(重度)の取得者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

○対象世帯 1世帯

○支援回数 延 96回(月平均 8回)

6 外出支援事業 (1,114,057 円)

(1) 佐賀市移送サービス事業 (483,489 円) [P. 57]

既存の交通機関による移動が困難な在宅の高齢者や身体障がい者(移動制限者)に運転ボランティアの協力を得て、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを行った。

	利用登録者	運転ボランティア登録者	利用者数 (延)	内 訳 (複数利用あり)		
				医療機関	公共機関	社会参加
本所	17	8	244	240	25	44
大和支所	5	3	37	44	0	0
富士支所	8	8	14	14	0	0
三瀬支所	2	4	8	7	0	1
川副支所	4	2	19	19	0	0
合計	36	25	322	324	25	45

(2) ガイドヘルパー事業(同行援護、移動支援) (630,568 円) [P. 106]

重度の視覚障がい者が、通院や社会参加のために外出を行う場合に、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣した。

○登録ヘルパー 2人

同行援護(障害者自立支援法による通院及び外出介助)

利用者数	派遣回数	派遣時間
8	245	440.5

7 その他の事業

(1) ごみカレンダー点字版の配布

パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方(26名)に配布した。

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

（１）赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、１０月１日から１２月３１日までの３ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

（単位：円）

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	県共募・中央 共募送金分	合計
戸別募金	11,847,624	1,027,300	2,032,040	428,400	146,650	1,401,020	818,300	717,500	0	18,418,834
街頭募金	108,939	0	35,929	0	18,593	0	0	0	0	163,461
法人募金	1,893,597	739,000	158,500	385,100	92,940	467,000	222,449	230,000	0	4,188,586
学校募金	147,030	3,699	12,696	17,873	3,285	44,907	15,149	27,035	44,524	316,198
職域（資材）	1,584,450	318,600	275,950	177,500	59,100	87,800	98,750	165,350	0	2,767,500
職域・その他	272,887	19,809	7,982	35,622	13,862	1,633	44,689	8,587	38,323	443,394
合 計	15,854,527	2,108,408	2,523,097	1,044,495	334,430	2,002,360	1,199,337	1,148,472	82,847	26,297,973

（２）歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、１２月１日から１２月３１日までの１ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

（単位：円）

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	県共募・中央 共募送金分	合計
戸別募金	4,699,013	302,000	573,740	122,400	41,900	402,550	233,800	204,900	0	6,580,303
その他	131,828	35,501	19	3,300	14,573	0	1,236	50,286	0	236,743
合 計	4,830,841	337,501	573,759	125,700	56,473	402,550	235,036	255,186	0	6,817,046

（３）災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

◎東日本大震災（４月～３月） １３５，５３６ 円（３月３１日現在）

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。
(単位：円)

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
社費・寄付金	13,145,248	1,434,700	2,865,900	612,000	209,500	2,137,250	1,151,000	1,021,500	22,577,098

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

① 1,000人赤十字救急法実践講習会

世界赤十字デー（5月8日）の全国統一キャンペーン事業として、県内1,000人赤十字救急法実践講習会を開催し、赤十字事業に対する理解度の向上に努めた。

- 開催日 平成25年5月16日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 79人

② 講習への講師（指導員）派遣

救急法：5ヶ所、幼児安全法：1ヶ所、防災講習：3ヶ所

(2) 防災・減災活動等への取り組みに対する助成

校区自治会及び自主防災組織等が、防災・減災意識の高揚を目的に実施する防災・減災活動及び研修会、講習会等に対して助成金を交付し、地域における日本赤十字社活動の普及と誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進を図った。

○助成金交付 1校区

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

- ◎東日本大震災 (4月～3月) 149,805円 (3月31日現在)
- ◎フィリピン台風義援金 (11月～2月) 4,831円 (2月28日締切)

(参考) 東日本大震災災害義援金取り扱い状況

(単位：円)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
共同募金会へ	2,690,743	7,327,468	175,902	135,536	10,329,649
日本赤十字社へ	3,963,156	21,031,191	780,958	149,805	25,925,110
合計	6,653,899	28,358,659	956,860	285,341	36,254,759

(4) 火事等の罹災世帯への援助

市民で災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、見舞金や毛布、日用品等の物資を支給することで、自力更生の向上を図る。